

福井県公安委員会 開催概要

令和2年12月24日開催 「定例公安委員会」

会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 大野市職員らによる公共工事発注をめぐる贈収賄事件の検挙

県警察から、大野市職員らによる公共工事発注をめぐる贈収賄事件の検挙について報告があった。

委員から「職員による不祥事は、組織に対する信頼を失わせる。不祥事防止こそ必要である。」との発言があった。

委員から「この種の贈収賄事件は直接の被害者がいないことから表面に出にくく、また、専門性の高い業種ということもあり捜査は大変だったと思うが、検挙できて良かった。今後も公正な社会の実現に向けて尽力願いたい。」との発言があった。

委員から「表面化しにくい事件に対し、捜査においては苦労もあったと思う。このような社会悪の強い事案を地道な捜査により検挙したことで、県民の警察に対する信頼度は非常に高まったと思う。」との発言があった。

(2) 山岳遭難者救助活動の状況

県警察から、本年11月と12月に発生した2件の山岳遭難に対する警察ヘリ「くずりゅう」による救助について報告があった。

委員から「吊り下げる器具がホイストということを知った。上空でホバリングしての救助はなかなか難しそうだが、訓練はどの程度しているのか。」との発言があり、県警察から「今年のホイスト救助訓練は16回である。実際のヘリでの救助は、今年は2回となっている。」と説明があった。

委員から「消防や各機関との連携がうまく行われることで、迅速な救助に繋がると思う。訓練と合わせて関係機関との連携も是非お願いしたい。登山は常に危険と隣り合わせである認識を持ってもらうためにも、広報啓発活動は大切だと思う。」との発言があった。

委員ら「上空からの目視による遭難者の発見は訓練の賜であったと思う。警察業務は多岐に亘り大変ではあるが、一人でも多くの遭難者救助に向けて、更なる技術の向上を目指し頑張っていたきたい。」との発言があった。



(3) 最近の警備情勢

県警察から、最近の警備情勢について報告があった。

委員から「今後も集団抗議行動に対する警備実施に際しては、関係機関と連携を取りながら事故がないようにお願いしたい。」との発言があった。

委員から「交通規制や交通整理などを適切に実施することでデモをしっかりとコントロールし、トラブルがないように対応願いたい。」との発言があった。

委員から「大飯原発などの老朽原発再稼働については日本全国が注視していることから、県内外から反対派が押し寄せて過激な行動を起こすことがないように、他県警と情報を共有しながらしっかりと対応していただきたい。」との発言があった。

(4) 「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」における警察の取組結果

県警察から、12月10日から16日まで実施された「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」における警察の取組結果について報告があった。

委員から「美浜事件関連の資料等を見せていただき、改めて身近に起きている事件だと感じた。やはり実際に見るということは大事で、巡回展示は非常に有効な啓発活動であると思う。」との発言があった。

委員から「若い方達は、関心がないというより事件をあまり知らないのではないかと思う。福井県は過去にこのような形で北朝鮮から様々な人が出入りしているのだという事実をしっかり認識してもらうためにも、各自治体などと連携しながら広報活動を進めていただきたい。」との発言があった。

委員から「福井県は海岸線が長いこともあり、警備に際し沿岸警備協力会の協力は非常に心強いと思う。事件を風化させないための巡回展示など、県民の意識高揚を図る広報啓発活動の展開とともに、関係機関との連携の強化も引き続きお願いしたい。」との発言があった。

2 個別決裁等

(1) 損害賠償に係る決定と和解

公用車の公務運行中の交通事故1件に係る損害賠償額の決定と和解について説明を受けた。

(2) 警察職員の援助要求

各都府県公安委員会に行っていた警察職員の援助要求に対する受諾について報告を受け、これを決裁した。

(3) 集団行動に関する許可事務専決状況

令和2年11月中の集団行動に関する許可事務専決状況について報告を受けた。

3 運転免許の処分関係

本日（12月24日）実施した道路交通法違反等に関する意見の聴取等12件の実施結果と処分内容に関する説明を受け、原案のとおりこれを決定した。